

## 栄養学研究法Ⅳ（食生活・食環境調査法）（選択・講義1単位）[教職（家庭）選択必修]

武 見 ゆかり

### 【授業の到達目標および概要】

人間集団を対象とした栄養学研究に必要な食生活調査、食環境調査法として、質問紙を用いた量的調査と、個別またはグループ面接による質的調査の方法論を理解し、調査設計ができるようになる。

### 【授業計画】

- ①② 量的調査：食行動・食態度・食知識等の把握を目的とした質問紙調査法の基本を学ぶ（社会調査の基本、研究目的との対応で調査目的の設定、調査枠組みの作成、調査票の設計、調査実施上の注意、データの扱いの留意点、など）
- ③④ 質的調査：個人面接、グループインタビューなど質的調査法の基本を学ぶ（質的調査の特徴と種類、計画・実施・解析方法、論文執筆の際の留意点、など）
- ⑤⑥ 食環境調査：食環境の概念、及びその調査法の基本（食環境の概念、食環境の把握がなぜ必要か、食環境調査の種類と特徴、近年の食環境と食物摂取の関連に関する先行研究の動向、など）
- ⑦⑧ まとめ

### 【授業外学習】

授業時に指示する関連の先行文献・資料を読み、授業の予習・復習を行うこと。

学習内容を、自分の研究課題とつなげ、どのように活用できるかを考え、理解を深めること。

### 【成績評価の方法・基準】

レポートにて評価

### 【教科書】

なし、資料を配布

### 【参考書】

- ・中村好一：保健活動のための調査・研究ガイド、2002. 医学書院、東京
- ・保坂亨、中澤潤、大野木裕明編著：心理学マニュアル 面接法、2000. 北大路書房、京都
- ・キャサリン・ポープ／ニコラス・メイズ編著、大滝純司監訳：質的研究実践ガイド - 保健医療サービス向上のために、2008. 医学書院、東京
- ・佐藤郁哉：質的データ分析法 - 原理・方法・実践、2008. 新曜社、東京

### 【教材】

授業時に配布

### 【備考】

この科目では、主として対象集団の知識・態度・行動、及び食環境に関する調査法を扱う。身体面並びに食物摂取に関する調査法（アセスメント手法）の学習のために、栄養学研究法Ⅲ（石田教授・上西教授担当）を併せて履修することが望ましい。